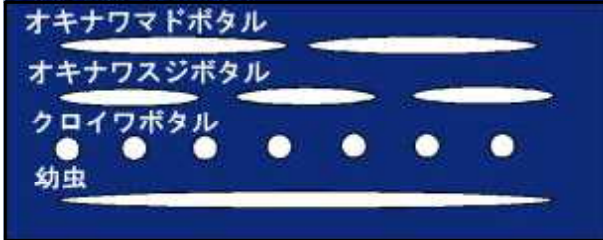


森の川自然散歩

2018年5月号



公園にもホタルの季節がやってきました

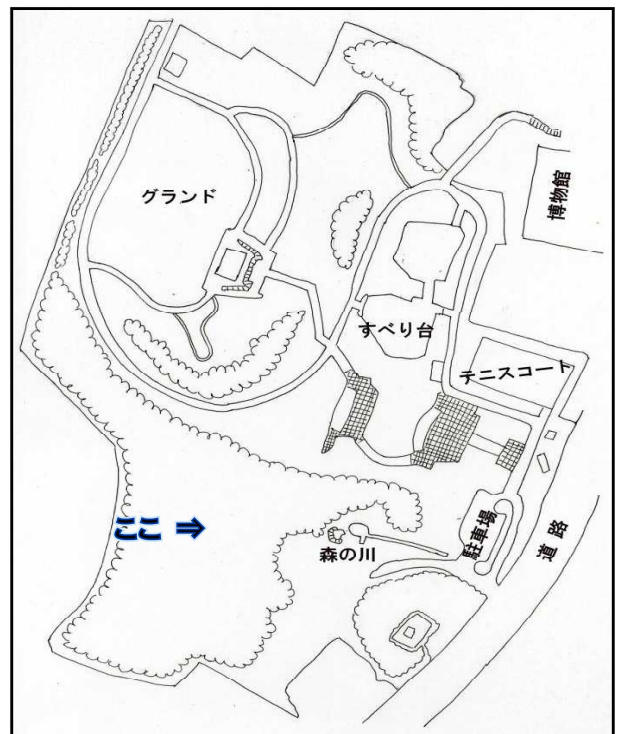
上：葉っぱの上にとまるオキナワスジボタルのオス。

左上：森川公園で見られるホタルの光り方。白い部分が光を示しています。

森川公園では3種類のホタルが見られますが、これらは光り方で区別できます。

オキナワスジボタル（メモ）▶▶▶

- 体長は約7 mmで、オスは長く尾を引く連続光で飛びながら光ります。メスは葉の上などで強く発光してオスを誘います。
- 宜野湾に生息するホタルの中では出現期が最も長く、3月下旬から11月くらいまで見ることができます。幼虫は終齢でも12 mmくらいで、暗白色で弱い光を放ちます。湿った林床の落ち葉の中などにすんでいます。
- 森川公園や大山貝塚、比屋良川公園の森など、市内の広い範囲で見ることができます。
- ホタルを観察する時は、安全に気をつけて、お父さんやお母さんと一緒に行きましょう。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(15) 清流もないのに、なぜホタルが？

宜野湾市内には、オキナワスジボタル、クロイワボタル、オキナワマドボタル、タテオビフサヒゲボタルの4種類のホタルが生息しています。このうち、タテオビフサヒゲボタル以外の3種類が森川公園でも見られます。

川もなく森の川の泉だけで、なぜこんなにホタルがいるのかしら？と考える人もいると思います。森川公園のホタルはみんな陸生なのです。その幼虫たちは、カタツムリを食べて成長します。そのためホタルが暮らしているのは、森の落ち葉の下などです。もちろん森の川の泉の周りにもいますが、基本的にはカタツムリのいる湿った林床にすんでいるのです。

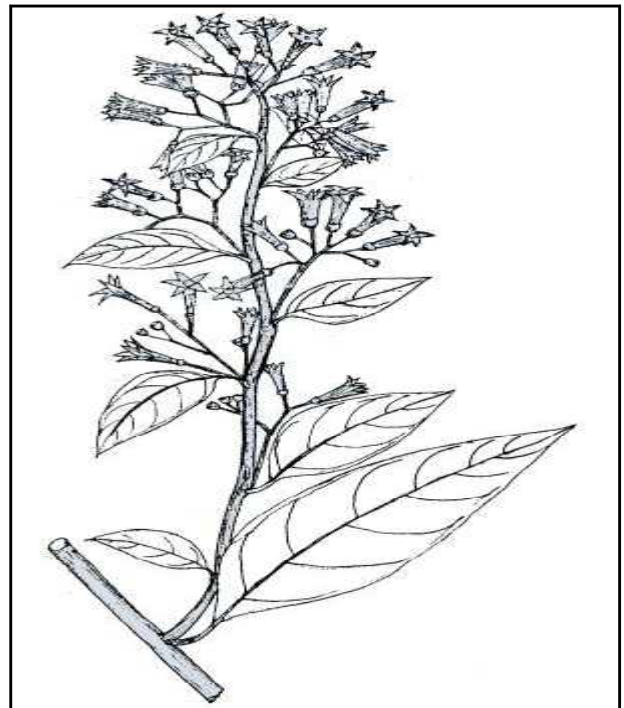


上:パンダナマイマイをおそうオキナワマドボタルの幼虫。

森川公園5月の花ごよみ

夜になると匂ってくる香りはどこから
～ ヤコウカ (ヤコウボク) ～

- 森の川の上にある、ウガンヌカタの広場の周りに生えています。特に石門の左右に多いです。
- 西インド諸島の原産ですが、庭木として植えられたものが野生化していることが多いです。高さは1～3mくらいです。細い枝が長く伸びているのが特徴で、枝には長いだ円形の葉がついています。
- 枝の先端付近に長さ2cmくらいのクリーム色をしたラッパ状の花がたくさん咲きます。
- 名前の由来は、夜になるととてもかぐわしい香りを放つことからきています。



博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

